令和６年度　事業報告書

宇部市宇宙教育推進協議会

令和６年度は、下記１～９の事業を実施しました。

《実施事業》

１　コズミックカレッジ
令和６年７月２７日（土）～７月２８日（日）

２　高校生を対象としたキャリア教育講演会
令和６年　９月２７日（金）　慶進高等学校
令和６年１０月　２日（水）　宇部フロンティア大学付属香川高等学校
令和６年１０月２２日（火）　宇部工業高等専門学校

３　ＮＡＳＡスペースアップスチャレンジ
令和６年１０月５日（土）～１０月６日（日）

４　オープンデータアカデミー２０２４
令和６年１１月４日（月・祝）

５　天文講演会「最新宇宙観と人類文明」
令和６年１１月１６日（土）

６　宇宙教育×成長産業推進セミナー（第８回宇宙教育セミナー）
令和６年１２月７日（土）

７　宇宙教育パネル展
令和６年１２月１３日（金）～令和７年１月８日（水）

８　ＭＥＧＡＳＴＡＲ上映会
令和７年２月８日（土）～２月９日（日）

９　ＦＭきららラジオ放送
令和６年７月５日（金）、１１月１９日（火）、令和７年２月１２日（水）

令和６年度　事業実施報告書

No・事業名		１　コズミックカレッジ　①フィルムケースロケット ②星砂を探そう ③ペンシルロケットペーパークラフト
実施日時		①令和６年７月２７日（土）　１４：００　～　１５：３０ ②令和６年７月２８日（日）　１０：００　～　１１：３０ ③令和６年７月２８日（日）　１３：３０　～　１５：３０
実施場所		宇部市立図書館　２階　講座室
参加者	講師	山口大学大学院　創成科学研究科　前川　仙子
	監修	株式会社New Space Intelligence　代表取締役　長井裕美子
	参加人数	①小学１・２年生と保護者　１１組（２２人）　※募集定員１２組（２４人） ②小学３・４年生と保護者　１２組（２４人）　※募集定員１２組（２４人） ③小学５・６年生　１４人　※募集定員１６人

＜活動内容＞

＜感想・効果＞

今年度も、山口大学やＪＡＸＡ宇宙教育センター等と連携を図りながら、事業を実施した。

アンケートでは、「ロケットが高く飛んで楽しかった。」、「いろいろな星座の名前や宇宙のことを知ることができて良かった。」、「ペンシルロケットを作るのは難しかったけど、何とか作ることができて良かった。」等の感想があった。

令和６年度　事業実施報告書

No・事業名		２－１.高校生を対象としたキャリア教育講演会in慶進高等学校
実 施 日 時		令和６年９月２７日（金）　１３：３０　～　１４：３０
実 施 場 所		慶進高等学校　ＫＳホール
参加者	講　師	長井　正彦 山口大学大学院　教授 山口大学応用衛星リモートセンシング研究センター　センター長
	参加人数	１５６人（生徒及び教員） 【内訳】アドバンスコース１・２年生　１４６人、教員　１０人

＜活動内容＞

令和３年度まで、市内団体が主催、宇部市教育委員会が共催となり、ＪＡＸＡに協力いただき、中学生を対象としたキャリア教育講演会を巡回実施していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できていなかった２校について、宇部市宇宙教育推進協議会が主催、宇部市教育委員会が共催となり、令和４年度に講演会を開催した。

また、令和５年度は、高校生を対象とした協議会新規事業として、宇部工業高等専門学校において、キャリア教育講演会を開催した。

令和６年度は、対象校を拡充して、引き続き高校生を対象としたキャリア教育講演会を開催することとし、慶進高等学校において実施した。

＜感想・効果＞

「未来を切り拓く衛星データ利用の挑戦」をテーマに、講師自身のこれまでの経歴に加えて、宇部市内や山口大学内にＪＡＸＡの施設があり、身近な場所で最先端の研究が行われていることや、衛星データ利用の活用法や展望などについて、分かりやすく語っていただいた。

生徒たちの感想には、「講師の方の行動力が印象的。」「宇宙（に関する職業）に興味を持った。」といった内容が見られ、今後のキャリアを考える上で大変参考となる講演会となった。

令和６年度　事業実施報告書

No・事業名		２－２.高校生を対象としたキャリア教育講演会in宇部フロンティア大学付属香川高等学校
実 施 日 時		令和６年１０月２日（水）　１４：３０　～　１５：２０
実 施 場 所		宇部フロンティア大学付属香川高等学校　多目的ホール
参加者	講　師	長井　正彦 山口大学大学院　教授 山口大学応用衛星リモートセンシング研究センター　センター長
	参加人数	１０５人（生徒及び教員） 【内訳】普通科（６年、特進、進学）１年生　１００人、教員　５人

＜活動内容＞

令和３年度まで、市内団体が主催、宇部市教育委員会が共催となり、ＪＡＸＡに協力いただき、中学生を対象としたキャリア教育講演会を巡回実施していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できていなかった２校について、宇部市宇宙教育推進協議会が主催、宇部市教育委員会が共催となり、令和４年度に講演会を開催した。

また、令和５年度は、高校生を対象とした協議会新規事業として、宇部工業高等専門学校において、キャリア教育講演会を開催した。

令和６年度は、対象校を拡充して、引き続き高校生を対象としたキャリア教育講演会を開催することとし、宇部フロンティア大学付属香川高等学校において実施した。

＜感想・効果＞

「未来を切り拓く衛星データ利用の挑戦」をテーマに、講師自身のこれまでの経歴に加えて、宇部市内や山口大学内にＪＡＸＡの施設があり、身近な場所で最先端の研究が行われていることや、衛星データ利用の活用法や展望などについて、分かりやすく語っていただいた。

生徒たちの感想には、「理系や文系に関わらず、自分の意志を大切にし、進みたい道に挑戦することが大切。」「どこに行ったかではなく、そこで自分が何を経験したかが大切。」といった内容が見られ、今後のキャリアを考える上で大変参考となる講演会となった。

令和６年度　事業実施報告書

No・事業名		２－３.高校生を対象としたキャリア教育講演会in宇部工業高等専門学校
実 施 日 時		令和６年１０月２２日（火）　１４：４０　～　１５：２０
実 施 場 所		宇部工業高等専門学校　講義室１０１番
参加者	講　師	長井　正彦 山口大学大学院　教授 山口大学応用衛星リモートセンシング研究センター　センター長
	参加人数	４６人（生徒及び教員） 【内訳】制御情報工学科３年生　４４人、教員等　２人

＜活動内容＞

令和３年度まで、市内団体が主催、宇部市教育委員会が共催となり、ＪＡＸＡに協力いただき、中学生を対象としたキャリア教育講演会を巡回実施していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できていなかった２校について、宇部市宇宙教育推進協議会が主催、宇部市教育委員会が共催となり、令和４年度に講演会を開催した。

また、令和５年度は、高校生を対象とした協議会新規事業として、宇部工業高等専門学校において、キャリア教育講演会を開催した。

令和６年度は、対象校を拡充して、引き続き高校生を対象としたキャリア教育講演会を開催することとし、宇部工業高等専門学校において実施した。

＜感想・効果＞

「未来を切り拓く衛星データ利用の挑戦」をテーマに、講師自身のこれまでの経歴に加えて、宇部市内や山口大学内にＪＡＸＡの施設があり、身近な場所で最先端の研究が行われていることや、衛星データ利用の活用法や展望などについて、分かりやすく語っていただいた。

生徒たちの感想には、「宇宙についてとても興味が湧き、未来が楽しみになった。」「地球上の様々な分野と、宇宙が関係していることに驚いた。」「これからの進路の選択に役立てようと思った。」といった内容が見られ、今後のキャリアを考える上で大変参考となる講演会となった。

令和６年度　事業実施報告書

No・事業名		３.ＮＡＳＡスペースアップスチャレンジ
実 施 日 時		令和６年１０月５日（土）～６日（日）
実 施 場 所		うべスタートアップ
参加者	主 催 者	Code for Yamaguchi
	参加人数	２５人

＜活動内容＞

本事業は、１０月５日と６日の２日間、世界３８０都市以上で同時開催されるグローバルなハッカソンイベントである。NASAやJAXAなどが公開しているオープンデータ（人工衛星を含む）を使用したアプリ・製品を開発するイベントであり、山口県内では宇部市をローカル会場として、昨年度に引き続き対面開催となった。

＜感想・効果＞

参加者は６チームに分かれ、昨年度よりも活気にあふれた様子であった。

例年同様、アート作品、ゲーム、課題解決アプリケーションに分かれたが、NASAのオープンデータ活用やAI生成技術を利用するなど、高度な技術を用いた作品が多かった。

令和６年度　事業実施報告書

No・事業名		４.オープンデータアカデミー２０２４
実 施 日 時		令和６年１１月４日（月・祝）　１０：００　～　１２：００
実 施 場 所		山口大学工学部　Ｄ講義棟　４階　情報処理実習室
参加者	講　　師	長井　正彦 山口大学大学院　教授 山口大学応用衛星リモートセンシング研究センター　センター長
	参加人数	１２人（１年生 ８人、２年生 ３人、３年生 １人）　※募集定員２０人

＜活動内容＞

オープンデータを活用した講座。人工衛星などの軌道情報を公開している「CELESTRAK」や、3D地図ソフト「Google Earth Pro」などを用いて実施した。

＜感想・効果＞

一人一人がパソコンを操作しながら、衛星データの扱い方やその活用方法を楽しく学習した。

参加者からは、「人工衛星が思っていたよりもたくさんあって驚いた。」、「Google Earth Proを使って、いろいろな場所を調べたり、災害危険区域などについても知ることができた。」、「オープンデータを使って自分なりの地図を作ることができて楽しかった。」、「家に帰ってもやってみたい。」などの感想があった。

また、現役大学教授による講座を、大学の講義室で受講できたことは、参加者にとって良い経験になったと考える。

令和６年度　事業実施報告書

No・事業名		５.天文講演会「最新宇宙観と人類文明」
実 施 日 時		令和６年１１月１６日（土）　１４：００　～　１７：００
実 施 場 所		ときわ湖水ホール　大展示ホール
参加者	講　　師	家 正則　国立天文台 名誉教授
	参加人数	１３０人

＜活動内容＞
　第一部、第二部という二部構成により、国立天文台 家 正則 名誉教授による講演を実施し、その後質疑応答の時間を設けた。

＜感想・効果＞
　すばる望遠鏡の建設経緯やハイテク補償光学の開発エピソード、最遠宇宙の探査研究、暗黒物質・暗黒エネルギーの謎、系外惑星研究など、最新の宇宙観を多彩な画像でわかりやすく、時折、笑いを誘う説明で、子どもから大人まで楽しく学ぶことができた。また、質疑応答では、多くの方が積極的に質問されており、より理解を深められている様子であった。

令和６年度　事業実施報告書

事業名		６.宇宙教育×成長産業推進セミナー（第８回宇宙教育セミナー）
実 施 日 時		令和６年１２月７日（土）　１３：００　～　１５：４５
実 施 場 所		山口大学工学部　Ｄ講義棟　１階　Ｄ１１講義室
参加者	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ／講師	・統括説明「衛星測位の今」 　長井　正彦 氏（山口大学応用衛星リモートセンシング研究センター センター長） ・講演①「準天頂衛星システムみちびき、過去～現在～未来」 　小暮　　聡 氏（宇宙航空研究開発機構　ユニット長） ・講演②「スマートフォンで1cm精度の位置決定が衛星測位でできる理由」 　久保　信明 氏（東京海洋大学学術研究院　教授） ・講演③「レベル４自動運転移動サービス実現に向けた取組みと課題」 　大石　淳也 氏（アイサンテクノロジー株式会社　部長） ・質疑応答
	参加人数	７６人

＜活動内容＞

衛星測位システム「GNSS」をテーマに、JAXAの開発リーダー、大学のトップ研究者、民間事業者の事業化リーダーの３人を講師として迎え、宇宙を利用した測位技術や成長産業の一つである宇宙産業の魅力や可能性などについての講演を実施した。

冒頭、長井センター長による統括説明を行ったほか、３人の講師による講演を終えた後、質疑応答も実施した。

統括説明(長井　正彦 氏)

講演①(小暮　　聡 氏)

講演②(久保　信明 氏)

講演③(大石　淳也氏)

質疑応答

質疑応答

＜感想・効果＞

昨年度に引き続き、宇部市宇宙教育推進協議会と宇部市成長産業推進協議会が主催となり、開催した。アンケートでは、約９割の方が「非常に満足」又は「満足」と回答され、「測位技術が非常に進歩していることがわかった。」、「自動運転の技術について知ることができて良かった。」などの感想があった。

令和６年度　事業実施報告書

No・事業名	７.宇宙教育パネル展
実 施 日 時	令和６年１２月１３日（金）～令和７年１月８日（水）
実 施 場 所	宇部市立図書館　１階　展示室
来 場 者 数	８２８人

＜活動内容＞

宇宙教育推進協議会の事業の様子や、衛星データの利活用に関するパネル等の展示を行った。

＜感想・効果＞

協議会の実施事業や山口大学 応用衛星リモートセンシング研究センターの研究データ等の既存のパネルに加えて、今年度は新たに、市内企業（㈱New Space Intelligence）が作成した宇宙産業に関するパネルも展示した。

また、前年に引き続き、未就学児も参加できる宇宙に関する塗り絵コーナーを設置するとともに、原保育園の園児や、宇部フロンティア大学付属香川高等学校保育科の生徒が制作した展示物を設置し、誰もが会場に入りやすい雰囲気をつくり、多くの方に観覧していただいた。

令和６年度　事業実施報告書

No・事業名		８．ＭＥＧＡＳＴＡＲ上映会
実 施 日 時		令和７年２月８日（土）　１０：００　～　１０：４５ １３：００　～　１３：４５ １４：３０　～　１５：１５ 令和７年２月９日（日）　１０：００　～　１０：４５ １３：００　～　１３：４５
実 施 場 所		宇部市立図書館　２階　講座室
参加者	解 説 員 スタッフ	甲谷 保和 氏　はまぎんこども宇宙科学館 プラネタリウム解説員 福嶋 由幸 氏　有限会社大平技研　イベントマネージャー
	参加人数	１３９人

＜活動内容＞

一千万個の星々を投影する移動型光学式プラネタリウムシリーズ「ＭＥＧＡＳＴＡＲ」による上映会を、２日間全５日程で開催した。

＜感想・効果＞

会場の中央に設置された投影機から、天井だけでなく、壁や床の全面に至るまで、会場全体に星々が投影され、奥行きのあるリアルな星空が再現された。上映会の途中には、参加者が会場内を自由に歩き回る時間や、自身のスマートフォン等で撮影できる時間もあり、満足度の高いイベントとなった。

令和６年度　事業実施報告書

No・事業名		９．ＦＭきららラジオ放送
実 施 日 時		①令和６年　７月　５日（金）　１６：００　～（５４分番組） ②令和６年１１月１９日（火）　１６：００　～（５４分番組） ③令和７年　２月１２日（水）　１８：００　～（５４分番組）
①実施日	出　　演	長井　正彦　応用衛星リモートセンシング研究センター　センター長 前川　仙子　山口大学大学院 創成科学研究科（コズミックカレッジ講師） 大賀　厚志　宇部市教育委員会事務局 社会教育課
	内　　容	協議会、センターの取組に関する説明 今年度の事業の紹介 コズミックカレッジ（７月２７日、２８日）の告知
②実施日	出　　演	長井　正彦　応用衛星リモートセンシング研究センター　センター長 大賀　厚志　宇部市教育委員会事務局 社会教育課
	内　　容	協議会、センターの取組に関する説明 宇宙教育×成長産業推進セミナー（１２月７日）の告知
③実施日	出　　演	長井　正彦　応用衛星リモートセンシング研究センター　センター長 佐村　俊和　応用衛星リモートセンシング研究センター 林　　健二　宇部市教育委員会事務局 社会教育課
	内　　容	協議会、センターの取組に関する説明 今年度の事業の振り返り